



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

始業式 校長講話

おはようございます。今日から2学期が始まります。夏休み中に、いろいろな体験をしたことと思います。校長先生も、すてきな方に出会いました。今日は、みなさんにその話をしたいと思います。

くま川鉄道会社の社長 永江友二ながえゆうじさんです。

熊本県の南の方の山のなか、人吉にある鉄道です。人吉から湯前までの14駅、24・8キロメートルの区間を走る鉄道です。

くま川鉄道は、お客さんがすくないために、国鉄、国が経営していましたが、赤字で、（赤字というのは、もうからないということです。）人吉の市町村で経営するようになった鉄道です。地元の高校生が、高校に通うのにつかっていました。

そして、さらに、令和2年、2020年に災害が起こります。車両がつかり、橋が流されます。豪雨災害で、続けていくことが難しくなりました。

つづけるか？なくすか？

社長さんはじめ多くの人が決断を迫られます。

しかし、この列車には、高校生が40人くらい乗ります。（この湯前線沿いには、4つの高校があり、地元の高校生の通学手段です。）

この高校生の姿をみて、存続する決断をするのですが、赤字では、苦しいです。そこで、続けるための方策を考えます。

さて、どんなことを考えられたでしょう。みなさんだったら、どうしますか？

- 1 時刻表の工夫↓高校生がお客さんの中心だから、高校生にあった時間帯に列車を走らせませす。
- 2 宣伝 皆さんが知っているYouTube作戦↓地域外からのお客さんを増やします。
- 3 イベントをしかける ↓いろいろなイベントを企画し、みんなを呼び込みます。

お客さんを増やすには、どうしたらいいのかという答えは、だれも、わかりません。どうしたらいいかわからない問題に一生懸命取り組んでおられます。あきらめるのでなく、どうしたら、うまくいくのかを考えていつていることがすごいなあと思いました。「あきらめたら、そこで、終わり」

2学期、みなさんも、いろいろと取り組むなかで、どうしたらいいかわからないことも多いと思います。でも、どうかして、それを乗り越えていく工夫を考え、友達と力を合わせて取り組んでほしいと思います。



くま川鉄道社長 永江友二さん

ぜひ、みなさんも、くま川鉄道を応援してください。QRコードを読み込んでみてください。



↑くま鉄チャンネル

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。先日、全体的な傾向は、新聞にも掲載されました。出水南小学校の児童の平均正答率は、全国や熊本県の平均値よりも上回っており、良好な成績でした。また、質問紙調査法においても、「学校に行くのが楽しい」と答えた児童は、全国平均よりもかなり高く、「幸せな気持ちになること」や「自分にはよいところがある」という項目もとても高い結果でした。今後も、子どもたちの成長のために、ご家庭と力を合わせて取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。